

科目ナンバリング：USE-1-131-01/UTL-1-301-04

■授業の目的及び到達目標

この授業の目的は、学校を取り巻く社会状況の変化によって生ずる諸問題と、その対応に向けた教育政策の動向について理解するとともに、地域と連携した学校教育のあり方や学校の管理下における事件・事故等への対応を理解することである。そのうえで、社会の変化に伴う指導上の課題、諸外国の教育事情やわが国の教育改革の動向について理解していること、地域と連携した学校教育の意義、学校安全における危機管理のポイントを理解していることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 教育社会学とは何か
授業の進め方、評価方法等について説明する。また教育社会学が扱う対象について解説する。
- 2 社会の変化と教育問題 (1)
階層による経済能力の差・文化資本の差が教育機会に与える影響について考える。
- 3 社会の変化と教育問題 (2)
文化的再生産論に基づいてメリトクラシーと階層間格差について考える。
- 4 社会の変化と教育問題 (3)
いじめについて：いじめ防止対策推進法の概要、学校・教師に求められる対応について考える。
- 5 社会の変化と教育問題 (4)
不登校・ひきこもりについて：不登校・ひきこもりの実態、それらへの対応について考える。
- 6 社会の変化と教育問題 (5)
子どもの貧困；それに対する国の対策。奨学金問題：高等教育へのアクセスについて考える。
- 7 社会の変化と教育問題 (6)
日本語指導の必要な生徒の急増とその背景、発達障害生徒への支援と対応について考える。
- 8 世界の学校制度と教育の特徴 (1)
日本、アメリカの学校制度の概要とその特徴を理解する。
- 9 世界の学校制度と教育の特徴 (2)
ドイツ、フランスの学校制度の概要とその特徴を理解する。
- 10 世界の学校制度と教育の特徴 (3)
イギリス、フィンランド、シンガポールの学校制度の概要とその特徴を理解する。
- 11 近年の教育政策の動向
中央教育審議会（中教審）の役割、中教審答申に基づく教育政策の動向について理解する。
- 12 学校と地域との連携および協働
戦後の地域教育計画に基づく実践、コミュニティ・スクールや学校運営協議会の役割を理解する。
- 13 学校安全教育および危機管理意識の向上
生活安全・交通安全・災害安全（防災）への対応と危機管理について理解する。
- 14 課題学習 教育問題についての考察
事前に提示した課題図書を読了したうえで、その事柄に関係するテーマ（事前に提示）について各自で関連資料を収集し、自身の考えをまとめておく。それにもとづいてグループディスカッションを行う。また、ルーブリックを用いて各自が自己評価を行う。
- 15 授業のまとめと試験
これまでの授業のポイントを整理し、試験を行う。試験後、事後解説を行う。
その後、課題学習で提出したルーブリックを返却し、各自の学びをフィードバックする。

■授業の方法

基本的に講義形式で行う（14回目の授業は演習形式）。授業では、その時限で扱っている内容に関連した質問を随時していくので、常に課題意識を持って授業に臨んで欲しい。

■予習・復習

〈予習〉事前に Blackboard からレジュメを印刷し、授業までに一読する。その際にわからない用語等を調べる。
〈復習〉授業の内容を再確認する。授業で出てきた中教審答申や教育法規を再確認し、理解を深める。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

定期試験（50%）、課題学習への取り組み（30%）、授業への取り組み姿勢など（20%）による総合評価。

■教科書・参考書

酒井朗・多賀太・中村高康編著、『よくわかる教育社会学』ミネルヴァ書房。
上記以外に、より詳しく解説したレジュメを配布する。

■関連する科目

教育原理を修得済みもしくは履修中が望ましい。